



高田地区キャラクター
「たかたん」

高田町内会だより

第 17 号
発行日:平成29年8月1日
発行者:高田町内会
会長 宮田 寿雄

真夏の夜の夢？そして・・・



高田町内会会長
宮田 寿雄

今年の夏、高田町内会は大変な事に成って居ます。
6月中旬の高田の丘音楽会は満席の様です。
7月初旬の早瀬川清掃で左岸通路周辺は大変きれいです。
中旬の防犯パトロールはのぼり旗を先頭にグループ毎に練り歩いています。
22日は各町内会や団体毎に夏祭りを開催しています。
高田町内会の70周年納涼盆踊り大会は、オリジナル盆踊り曲高田音頭で火が付き近年に無い盛況の様です。「真夏の夜の夢？」夏の高田町連合町内会の様子でした。
高田音頭復活にご協力頂きました両小学校の先生と生徒の皆さんそしてひまわり会の皆様、本当に有難うございました。
歌詞の通り皆で輪に成り続けましょう。
8町会の会員数には偏りが有ります。バランスの良い高田町連合町内会を目指し、先ず隗より始めよで「高田町内会を見直す」これを正夢に！

小・中学校(地域防災拠点)での「地域防災訓練」

高田中学校 6/1 実施

毎年1年生を対象にして「防災意識を高める」事を目的に行っています。

○煙体験

煙が充満した教室は視界が悪く「苦しかった、見えない事の怖さが分かった」と語ってくれました。



○手作り担架とレジ袋を利用した三角巾作り体験

消防署員、町内会役員から担架の作り方を学び、実際に運んで見ると「重い！」。何人かで協力し合う事を学んだようです。



また、家庭防災員とレジ袋を使つての三角巾作りでは「身近の物が利用できる事を知り、体験出来て良かった」などの感想がありました。

○水消火器を使った初期消火訓練

「火事だ」と大きな声をだし目標に向かって放水、「本番で落ち着いて出来るか？」との感想が聞かれました。



訓練終了後、保健委員の高橋君が代表で「今日の経験を活かして火事など災害があった時は、自分たちで対応できるようにしたい」と挨拶しました。

高田東小学校 6/24 実施

家庭内での避難訓練、近隣との助け合い、いっとき避難場所を知り、学校に行く訓練です。

家族での参加や、登校班でいっとき避難場所(おしどり寿司・駐車場)に集まり、避難者カードに記入後、先生・地域の運営委員が引率して学校に向かいました。

「どうしても今日仕事を休めないで、子どもをご近所の方がお世話下さり助かります」などの声を耳にしました。

去年経験しているので家族が離れることなく固まって共に坂道・階段を黙々と歩いていました。「ここは、道の真ん中を通った方がいいね」と安全を確認する親子もいました。



並んで学校に向かう



避難先の様子

会場では、区のボランティアの皆さんが、ビデオで実際の避難所の様子を映し、参加者は実感的に聞き入っていました。

たくさんの人で賑わった「高田町内会創立70周年納涼盆踊り大会」

7月22日(土)開催 会場:高田小学校校庭



幾重にもなった踊りの輪



老いも若きもみな手をとれば〜♪



早くから賑わう模擬店



共催の高田地域ケアプラザ
ふれあい広場☆夏まつり

慶応義塾大学落語研究会による「怪談」をこわごとと開演を待つ。

どんなお話だったんでしょうね〜。



途中休憩時間に
子供たちのお楽しみ
抽選会

軽快な演奏で盆踊り大会開始を盛り上げてくれた
アマチュアバンド
「ザ・ハッピーサククス」



色取りを添えてくれた子供たち

「高田音頭」は予定以上繰り返し放送。最後の曲まで沢山の人が踊られました。「ストレス発散できた」との声も。



高田東小児童はお揃いのウェア

「高田よいとこ…♪」

—— 高田小生まれの“高田音頭” ——

高田小学校創立百二十五周年記念誌「たかたの丘」に次のように書かれています。

昭和48年PTA委員会で「小学校を主体とする盆踊り大会を企画」し、「高田音頭」を作ることを決めました。

高 田 音 頭

高田よいとこ緑の町よ
森に畑にそよ風吹いて
青い空にはひばりもたかく
丘の校舎のポプラが萌える
春だ春だよみんな来い
高田音頭で輪になろう輪になろう



高田よいとこ明るい町よ
土手の坂道子どもが駆けりや
入道雲に虹橋かかり
早瀬川の川面が光る
夏だ夏だよみんな来い
高田音頭で輪になろう輪になろう



高田よいとこやさしい町よ
かやの大木ももとせ越えて
老いも若きもみな手をとれば
日暮れ鐘鳴るあの興禅寺
秋だ秋だよみんな来い
高田音頭で輪になろう輪になろう

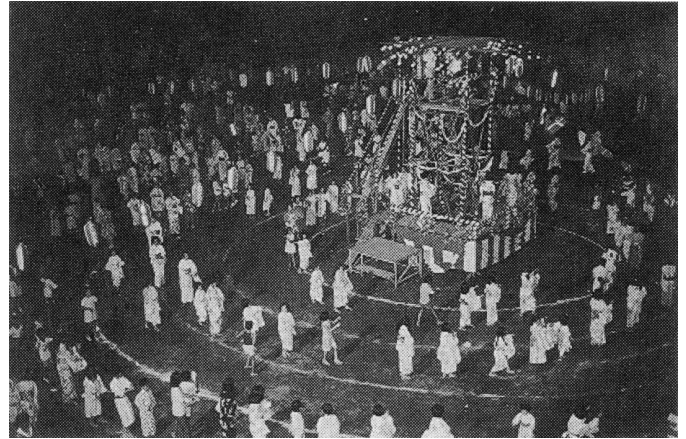


高田よいとこ静かな町よ
宮の朝もや歴史の落ち葉
登る階段息はく子らに
真向かう峰は新雪の富士
冬だ冬だよみんな来い
高田音頭で輪になろう輪になろう



歌詞を公募し、2名の方から応募があり、学校の先生の協力できあがりしました。踊りの振り付けは、地元の方をお願いしました。

そしてこの年 第一回盆踊り大会がPTA主催で行われました。

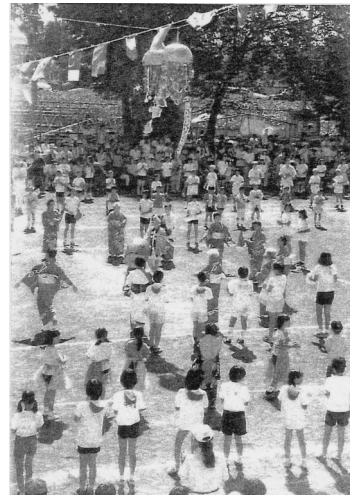


第1回盆踊り大会(昭和48年)

(横浜市立高田小 PTA 発行たかた 120 周年記念号より)

年配の方が「娘に聞いたら『今でも踊れるよ』と語っていたよ」と話されていました。

当日 子供の時に覚えたお母さん方も輪に入り、踊りのお手本となったりして踊られていました。



運動会でも踊られていた
(高田小学校創立 125 周年
記念誌「たかたの丘」より)

歌詞には、高田地区の風物や自然が歌い込まれ、高田の地域紹介になっている感があります。

今年の「高田音頭」復活を機会に、郷土“高田”の伝統行事にしたいものです。

“盆踊り大会”に向けて

高田小・高田東小のご協力をいただき、学校で三日間練習会をしました。



高田東小の練習

高田東小

「女の子が待っていてくれます」と、足早に笑顔で練習場に向かう講師の方。

少ない人数で始まり、先生方も加わって下さり回を重ねるごとに輪が大きくなり、アンコールの連続でした。どの日も20分の休み時間中踊り続けました。

講師は「ひまわりクラブ」の皆さんが、暑い中熱心に教えてくださいました。



高田小の練習

特別会員様のご紹介

日頃より、高田町内会の活動にご協力頂いております皆様方です。

(五十音順)

- ・あい保育園 高田東
 - ・さわやか信用金庫 高田支店
 - ・(有)三誠石油
 - ・(株)三徳 高田店
 - ・(有)松月人形
 - ・信栄鍍金工業(株)
 - ・高田中央病院
 - ・(有)滝本計器製作所 横浜工場
 - ・ひばりデンタルクリニック
 - ・(株)日吉製作所
 - ・山本記念病院
 - ・横浜信用金庫 高田支店
- 今後も宜しく願い致します。

心肺蘇生、三角巾の応急処置等について

家庭防災の講習会

家庭防災員主催により7月14日高田地域ケアプラザで家庭防災の講習会が行われました。講師は高田消防出張所川渕所長と、港北女性消防団の皆さんです。



講習内容は、ほとんどの方が初体験で、川渕所長の説明を聞き、さらに女性消防団の実演と指導を受けながら実習しました。マッサージをする位置、力の入れ方、交代するタイミングなど多くの質問が出されました。例えば「女性が倒れた場合はどうしたら良いか」と女性の立

場での質問に、「近くの人で囲いを作ってゆったり、上着などでカーテンのように隠してあげるなどの配慮が必要です」との説明に一同納得していました。

講習会後に次のような感想がありました。

- ・初めて参加しましたが、心臓マッサージやAEDの使い方は知らぬことばかりでした。覚えきれないが少しでも知ったことで緊急時は役に立てるかも知れない。参加して良かった。
- ・3回目の参加ですが大きな声が出せなかった。

家庭防災員代表の佐野さんは「今後多くの防災員に声掛けをし、防災に対する意識、知識を高めてもらうよう努力をしたい」と話されました。

「緊急救命心臓マッサージとAED使用について」は町内会だより平成29年2月1日発行第15号に詳しく掲載してあります。

高田って どんどころ？ -13-

高田駅前から高田交差点方面



平成15年 工事中の地下鉄



現在

昭和40年以降の高田

のどかな農村が 市街地に変貌！

昭和44年東名高速道路が全線開通。日本の工業化は進み、国民の生活は便利になった一方で、公害・環境問題が深刻な社会問題となりました。

そんななか東京の人口は急激に膨張し、まず綱島周辺で農地の宅地化が進みました。昭和40年代に入ると、高田の農地も急激に宅地化が進みます。更に昭和49年に完了した区画整理事業や、昭和50年代日吉元石川線の拡幅工事も終了したこと等により市街地が進みます。この頃から今見るような高田の市街地化された風景になったと思われます。

高田に生まれ今も住む男性は「こんなになるとは夢のよう」そして「のどかな自然がなくなり寂しい限り」と話していました。

編集後記 今年度から広報委員に1人が加わり、5人体制で広報紙づくりに当たりました。今号では、高田音頭の唄と踊りが作られ、実際に踊られていましたが、高田町内会創立70周年を機に復活したという記事を集めてみました。感想等お聞かせください。

(M・S)